

# 働く女性の“世論”はシティにあり！

「育児休業3年」に賛成はたった3割!? “働く女性の敵”は一体誰？  
シティリビングがホンネに迫る特集シリーズをスタート

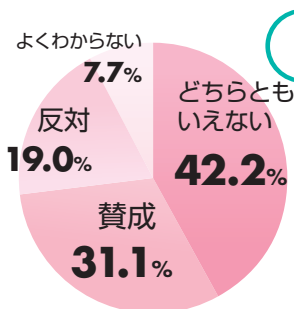
サンケイリビング新聞社（代表取締役：内堀真澄）が発行するオフィスで働く女性のための情報紙「シティリビング」では、2013年10月から半年にわたり「働く女の会議室」特集シリーズを開始します。アベノミクスの柱の一つである“女性の活躍促進”を働く女性は実際、どうとらえているのか。育児休業3年、待機児童解消、管理職登用、生涯賃金、ワークライフバランス等をキーワードに、読者のホンネに寄り添いながら、問題に真っ向から向き合い、識者のインタビューを交えながら、ヒントを提示していきます。

特集では、人気イラストレーターの進藤やす子さんによる25歳・35歳・45歳の3人のキャラクターが登場。5回を通じて成長していくストーリー仕立ての展開です。

育児休業の問題を扱った10月4日号では“育休3年に賛成”はたった3割という結果に。「ほかと違い、シティに掲載されている声には現実味がある」「黙殺されがちな派遣社員の実態にも触れられていて熟読した」と好反響の声が。雇用形態を問わず、働く女性が手に取るシティリビング読者のホンネは、いわば「OLの世論」。世間を賑わすキーワードを“世論”はどう見る—？ 11月のテーマは「女性の管理職登用」、ご注目ください。また、シティリビングでは、働く女性の意識に関するデータ提供も受け付けています。



## シティ(株)の3人が選ぶ道はいかに!?



### 育休3年に賛成?

「3年も休まれたらたまりません!」「制度として存在するのはありがたい」など、支える立場が多い働く女性のホンネが浮き彫りとなり「心に刺さった」という声も。

※2013年5月リビングくらしHOW研究所調べ(有職者のみ、有効回答数510)



ミサキ

25歳・独身・スキルの高い派遣社員。20代で結婚し30代で出産して専業主婦になるのが夢



ユウコ

35歳・独身・仕事を任せられることが多くなってきた中堅どころの正社員。趣味は登山と写真



ケイコ

45歳・独身・バリキャリ志向の正社員。元ミス・キャンパスで、結婚を前提としない彼氏もち

全5回のテーマは…

- ▼ 10月4日号 「どう考える? 育休3年」 (育休3年、待機児童ゼロ)
- ▼ 11月1日号 「管理職に大抜擢!?! ①」 (女性活躍推進、20/30 プロジェクト)
- ▼ 12月6日号 「管理職に大抜擢!?! ②」
- ▼ 2月7日号 「もらうものを増やすには」 (生涯賃金ほか)
- ▼ 3月7日号 「人生のワークライフバランス」 全回 <http://city.living.jp/tokyo> でも公開

「シティリビング」媒体プロフィール	
体裁・発行日	タブロイド版カラー・週刊、無料
発行元	株式会社サンケイリビング新聞社
配布エリア	東京都心14区(7668オフィス)、横浜市、川崎市近郊(3381オフィス)
配布方法	希望に基づき、オフィスに直接配布
発行部数	東京版18万5326部、横浜版5万1222部
主なターゲット	オフィスに勤務する20～40代の女性

【リリース・データに関するお問い合わせ先】

株式会社サンケイリビング新聞社 シティリビング編集部 担当：仁張美穂 [nnbrmiho@sankeiliving.co.jp](mailto:nnbrmiho@sankeiliving.co.jp)  
東京都千代田区紀尾井町3-23 TEL: 03-6703-4420